

体協だより

発行：特定非営利活動法人羽村市体育協会

明けましておめでとう
ございます

本年もよろしくお願いいたします。
特定非営利活動法人羽村市体育協会の役員
一同、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
一年の計は元旦にあり。皆様も新鮮な
気持ちでスポーツの『事初め』にも正月
早々から取り組まられたことと思います。



今年も体協だよりをご愛読下さる皆様の健康と
幸せをお祈りするとともに特定非営利活動法人
羽村市体育協会へのご理解とご支援をよろしく
お願いいたします。



特定非営利活動法人
羽村市体育協会

会長 小山 茂樹
副会長 田村 義明
副会長 本田 文栄
専務理事 岸浪 一正
役員 一 同

『第34回羽村市完歩大会』
(1, 2の3里を歩こう会)
新コースで開催しました



リニューアルされたコースでの初めての大会
スタート直後、元気いっぱいの参加者(3里の部)

11月23日(月)79名の参加で開催。
羽村の堰玉川兄弟像前をスタート、
多摩川沿いを、1里(4km)、2里(8km)、
3里(12km)の各コースにわかれ、堰下レク
リエーション広場でフィニッシュ。
参加者の皆さんは、思い想いのペースで秋の
一日、良い汗を流しました。
澄み切った青空の下、紅葉も見ごろで晩秋の
川風も頬に気持ちよく吹き渡り、心身ともにリ
フレッシュされたことと思います。



参加された皆さん、お疲れさまでした。
新コースでの完歩の感想も盛りだくさん。
来年も多くの皆様に楽しんでいただけるよう、
大会関係者一同さらに一歩進んだ企画を鋭意
検討中です。

加盟団体のひろば

今年度2回目の各加盟団体から寄せられた活動紹介です。

当体育協会加盟の各競技団体の活動と活躍の一端をお伝えし当体育協会活動へのご理解を深めていただければ、と願うしだいです。

今号では今年度新加盟されたインディアカ連盟に、まずはご登場願います。

ー インディアカ ー

ご参加をおまちしております！！

“インディアカ”はインディアンによって考案され、ドイツでルール化されたスポーツです。

私たちは近隣に遅ればせながらのスタートでしたが、気軽に、無理なく、レベルに応じてできるので、生涯スポーツとしても広がるよう普及活動に頑張っております。

また、今年度より体育協会に加盟させていただき、初めての総合体育大会の事業を平成22年1月10日に行います。

この大会をきっかけに新たな出会いの場になれば幸いです。

大勢の方のご参加をお待ちしております。

問合先 西野 礼子 TEL554-6306



*** インディアカ競技とは ***

羽根のついた特殊なボールを素手で打ち合うゲームでバレーボールのように原則3打以内で相手コートに打ち込みあいます。



インディアカボール
(高さ約25cm、重さ約50g)

チームの人数は4人対4人。

コートの大きさはバドミントンと同一です。



インディアカの愛好者たち

ー ゲートボール ー

ーゲートボールで健康！ー

昭和57年羽村市ゲートボール協会発足時の会員数は14クラブ350～360名です。

現在(平成21年)は会員数が高齢者となり7クラブ100名程度になりました。

今後は各クラブも新たな会員の確保に苦心しており社会人、退職者等の幅広い年齢層への普及方法が問題点になっております。

尚、都心部(23区)では、20～30才代の会員チームが強豪として活躍しております。

運動をしたい人が一人で散歩、ウォーキング、ジョギング及びストレッチ等に長続きしないあなたにはゲートボールが最適と思われま

す。ゲートボールは知的競技として脳の老化防止、ストレスの解消と同時に適度の運動(1試合



30分)で近隣市町村とのふれあいの場ともなり、退職後の友人との再会及び親睦等を深め、世代間のコミュニケーションにも役立つ楽しみながら健康増進に一石二鳥にもなります。

各クラブでは何時でも新会員を募集しておりますので趣味がなく運動で困っている人は一度ゲートボール場でボールを打って楽しんで見て下さい。お待ちしております。



— 陸 上 —

— ジュニア育成地域推進事業 —

*** 羽村市総合体育大会 ***

◆第12回はむら桜づつみジュニア駅伝大会◆



3年・4年男女のスタート

10月24日(土)

宮の下公園および桜づつみコースで開催

小学3年・4年男女：1.5km×4人

小学5年・6年男女：2.3km×4人

今年は、インフルエンザにより欠場するチームが多いのではと予想されたが、小学校全7校の参加による110チームが「たすき」をつなぎ、5年女子では大会新がでるなど一人一人が力走しました。



毎年大勢の選手が参加してくれるのも

各学校の先生方や保護者による協力のおかげです。走ることは体を鍛えることだけでなく、記憶力・集中力アップなどにつながります。又、他の競技を行うジュニア達にもプラスになるのでジュニア育成にも貢献でき喜びを感じています。

陸上競技に係わったジュニアの選手達が後に多種のスポーツで活躍する姿が見られるのを楽しみにしています。



表彰式のひとこま

最後の参加となる6年生チーム

<指導広報部からのお知らせ>

各加盟団体の記事の紹介は随時次号以降に掲載してまいりますのでぜひご期待ください。

また興味ある競技がありましたら下記ホームページにも紹介されておりますので、こちらもぜひのぞいてみて下さい。

ホームページ

<http://www.hamura-taikyo.npo-jp.net/>

富士見公園テニスコート

改修工事始まる

『土(クレー)』から『砂入り人工芝』へ



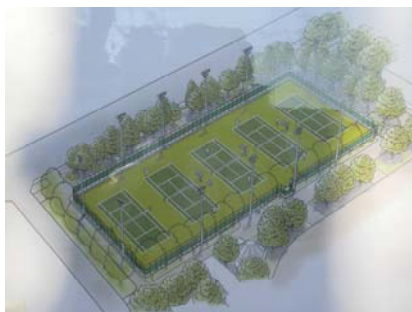
テニスコート全面改修の様子

かねてからの行政への要望がついに実現。

これまでもコートの整備に尽力されてきた、ソフトテニス連盟、およびテニス連盟の皆様の喜びもひとしおのことかと思えます。

人工芝コート実現の暁にはそのプレーにも、一段と磨きがかかっていくことでしょう。

行政の関係各位の皆様にはこの場をかりて、厚く御礼申し上げます。



完成予想図
<工事現場の
掲示板の写真>



完成は2月末を予定。

春のシーズン到来が今から楽しみです。

ジュニア育成地域推進事業 『指導者合宿研修』を開催しました

「ジュニアスポーツのネットワークの構築・活用事業」の一環として、10月24日(土)、25日(日)に羽村市清里自然休暇村において、「ジュニア育成ネットワークの構築・活用」を主題とした指導者合宿研修を開催しました。

基調講演で、実践女子短期大学教授の日野一雄氏から『ジュニアスポーツの事故と指導者の責任』とのテーマでのお話、続いて『羽村市のスポーツ振興の現状と課題』に関する羽村市教育委員会体育課・堀松課長による説明の後、ジュニア育成事業に参画する8団体を中心に当体育協会本部および各加盟団体が各分科会に分かれ討議、報告発表を行い、ジュニア育成への取り組みの重要性と課題を確認、関係者間の連携をより深めることができました。



実践女子短期大学 日野一男教授の講義風景

基調講演の中でスポーツ法学の権威である日野氏は、スポーツ事故の事例とその裁判判決の結果をからめて話を進められました。

その中でも裁判でジュニア選手側、指導者側のどちらに非ありかを定める『過失』について、『してはいけないことをしてしまった』のか、『しなくてはいけないことをしなかった』かが分かれ目となるとのこと。実体験での事故裁判事例のお話には、我が身につまされる思いが多く



分科会の様子

の参加者から聞かれました。以下は各分科会のテーマと意見集約の抜粋です。

分科会1：ジュニアのスポーツへの関心を高める各団体の役割はどうあるべきか

- 『基礎づくり、体力づくり。』を念頭に的確な目標設定のもとに技術力の向上をはかる指導者としての役割を実践。
- 『スポーツの楽しさ、達成感、感動の享受』を与えながら各種の教室を開催して底辺を拡大。
- PR活動のための各加盟団体と学校との直接的なネットワークの構築。

分科会2：ジュニア育成のための横のつながり(ソフト面)をどう構築するか。

- 学校との接点の構築のための教育委員会やスポーツ振興審議会の関与が重要。
- 中学校の部活動の復活と活性化のために、外部指導員の派遣も含め、学校間の共同練習会開催等の働きかけの実施。



研修終了後の参加者達

みなさま、あけましておめでとうございます。

本号では新年のご挨拶に加え、昨年末開催の事業や加盟団体のご紹介となりました。

新年を迎え、本年度の事業も最後の追い込み。

“体協だより”ではひきつづき皆様にタイムリーな情報をお届けすべく編集発行に取り組んでまいります。

特定非営利活動法人羽村市体育協会へのご支援、御協力をあらためてよろしくお願いいたします。

(記：指導広報部長 市山雄三)

体協だより 第11号

発行：特定非営利活動法人 羽村市体育協会
羽村市羽加美1-29-5

電話 042-555-1698

発行日：平成22年1月1日

編集：体育協会 指導・広報部